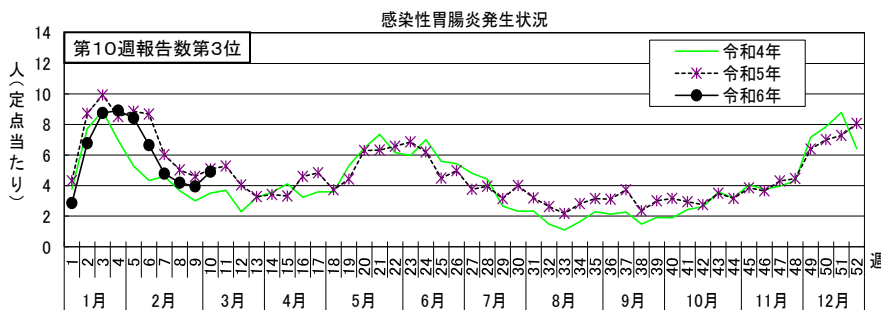
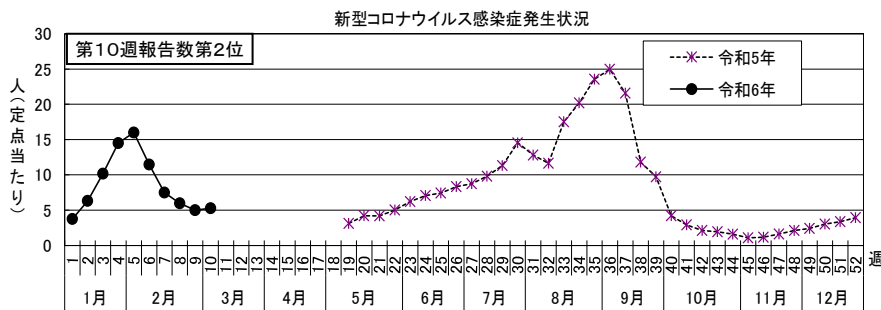
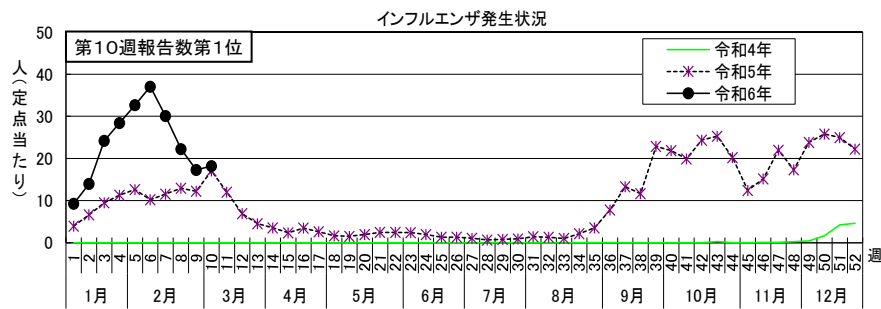


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年3月4日（月）～令和6年3月10日（日）〔令和6年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は18.18人と前週（17.30人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は5.27人と前週（5.00人）から横ばいでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.92人と前週（3.94人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

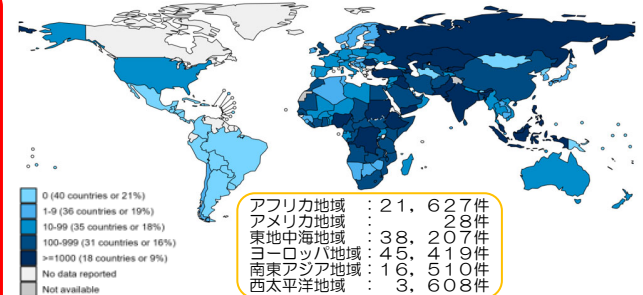


知っていますか～麻疹（はしか）～

麻疹は、麻疹ウイルスを原因とする急性感染症で、免疫のない人が感染するとほぼ100%発症し、約30%に肺炎や脳炎等の合併症がみられます。麻疹を予防するためにはワクチン接種が有効であり、2回接種による免疫獲得率は97%～99%以上とされています。

国内では、麻疹は排除状態であり、近年は渡航先での感染例とその二次感染例のみが報告されています。しかし、全世界的にワクチンの接種率が低下しており、海外では各地で麻疹が発生していることから、今後は国内への輸入例が増加する可能性があります。お子さんの定期予防接種歴を確認し、忘れずに2回の接種をしておきましょう。

世界における麻疹の流行状況
 —令和5年7月～令和5年12月—



世界保健機構（WHO）ホームページより抜粋

麻疹とは？

- 【感染経路】 飛沫感染、接触感染、空気感染
- 【潜伏期間】 10～12日
- 【症状】 発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血等
- 【合併症】 肺炎、中耳炎、脳炎
- 【予防対策】



麻疹含有ワクチン（MRワクチン）の接種
 ※2回接種による免疫獲得率は97～99%以上と報告されています。

麻疹・風しん(MR)定期予防接種の対象者

- 【第1期】 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 【第2期】 小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）